

～ 一人ひとりが認め合い、
私たちらしく暮らせるあったかなまち ～

NAKA City

那珂市の

ふくし

令和7年
12月11日発行

No.131



那珂市社会福祉協議会

～支える人を支える募金～ 赤い羽根共同募金にご協力 ありがとうございました。

市内スーパーやふれあいまつりにて、「赤い羽根共同募金運動」を実施しました。写真は、マルトSC那珂店にて実施した街頭募金と11月に開催された「管☆まち☆カフェ 2025」での募金の様子です。今年も多くのおみなさまにご協力いただき、地域のつながりとぬくもりをあらためて感じることができました。一人ひとりの善意が、地域福祉を支える大きな力となっています。



目次

笑顔と交流を広げる「高校生」のチカラ

2

社協インフォメーション

6

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございます

3

善意銀行からのご報告

7

障がいのあるかたが地域で安心して暮らせるように
障がいがある人の権利擁護～虐待や差別のない社会へ～

4

こどもの食応援プロジェクトへの
寄付ご報告

7

身近な地域のお宝発見

5

第39回那珂市社会福祉大会開催

8

きずなBOXによる食の支援について



「那珂市のふくし」の一部には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています



笑顔と交流を広げる「高校生」のチカラ

～水戸農業高等学校学生ボランティアの活躍～

近年、近所づきあいの減少や人とのつながりの希薄化が課題とされている中、自分たちの得意なことを活かして地域のために活動する「水戸農業高等学校学生ボランティア」をご紹介します。

今年8月に開催した「シニアのためのスマホ講座」では、学生ボランティアが参加し、操作に戸惑う高齢者に寄り添いながら、丁寧にサポートしていました。参加者からは「まるで孫と話しているみたい」と笑顔がこぼれ、「こどもや孫には聞けない」「何度も聞くと怒られてしまう」と諦めていたかたにとつて、大きな力になりました。講座終了後も、参加者が自主的に活動する「スマホサロン」にボランティアとして参加するなど、継続的に活躍しています。

また、那珂市社協が実施する「こどもの居場所」においては、こどもとの遊びを通じて積極的に交流したり、他のボランティアと一緒に食事づくりに取り組んだりするなど、多方面で活動しています。

そうした、幅広い世代を対象とする活動の中で、小さなこどもと大人をつないだり、ICT化に戸惑う高齢者を自分たちの得意なことサポートするなど、世代をつなぐ大きな架け橋になっています。そして、学生たちも楽しみながら、異なる世代と交流しみんなのことを笑顔にする、そんな素敵な地域の「チカラ」になっています。



 みなさまからお寄せいただいた共同募金は地域のボランティア支援に活用されています 

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



令和7年度赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございます

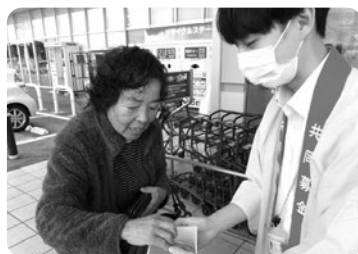
今年も10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。那珂市共同募金委員会では、市内スーパーなど各店舗にもご協力いただき、民生委員・児童委員のみなさまとともに街頭募金を実施しました。

10月1日、10月21日には先崎光那珂市長にもご協力いただきました。買い物に訪れた多くのみなさまから募金をお寄せいただき、誠にありがとうございました。また市内のイベント会場においても、訪れたかたへ赤い羽根共同募金運動へのご協力について周知いたしました。

お寄せいただいた募金は、地域のつながりづくりの支援や福祉教育の推進、被災地支援など、多くの地域福祉活動に役立てられます。今後とも、みなさまのあたたかいご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



街頭募金の様子



詳しい募金の活用については、「赤い羽根データベースはねっと」に掲載されていますので、QRコードをお読み取りください。



街頭募金・イベント募金にご協力いただいた店舗など

イオン那珂町店、(株)カスミ瓜連店、(株)カスミ那珂店、(株)かわねや菅谷店、(株)スーパーヒロセヤ、直売所とんがりはっと、(株)マルトSC那珂店、かんざきまつり、額田ふれあい祭り、菅☆まち☆カフェ、五台ふれあいまつり、戸多まつり、ふれあいよしのまつり、木崎ふれあいまつり、瓜連ふれあい祭



自治会などに加入されていないかた(個人で募金にご協力いただけるかた)へ

インターネットからも「赤い羽根インターネット寄付システム」を利用することで、クレジットカードやPayPay決済などによる寄付を行うことができます。右記のQRコードを読み取っていただきますと申込画面に移動しますので、必要事項をご入力の上お申し込みください。



●記名寄付と匿名寄付をお選びいただけます。

記名寄付…1回につき500円～30万円以下の範囲で寄付が可能、領収書発行可能

匿名寄付…1回につき100円～1万円以下の範囲で寄付が可能、取り消し返金不可

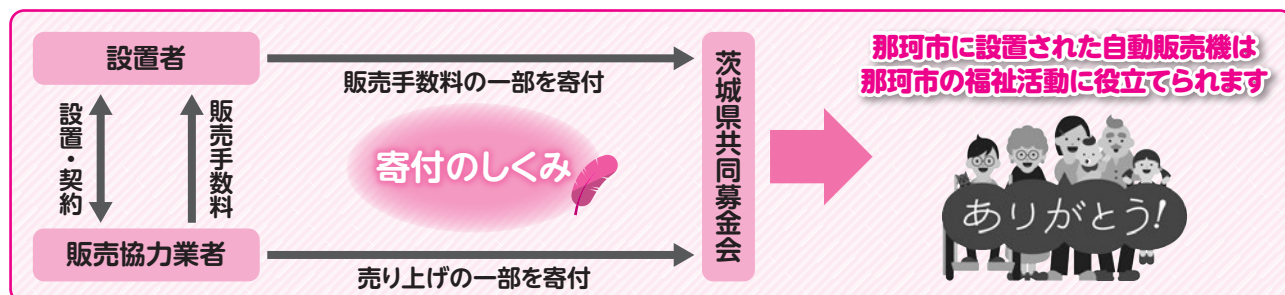
那珂市共同募金委員会に寄付できます



寄付つき自動販売機を設置協力していただける事業者様を募集します！

寄付つき赤い羽根自動販売機は、飲み物を購入すると、その売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付される自動販売機です。自動販売機を設置する人、飲料メーカー、購入者の誰もが寄付者となる寄付のしくみです。

自動販売機で気軽にできる“社会貢献活動”始めませんか？



問 総務・地域支援グループ TEL.229-0309

～障がいのあるかたが地域で安心して暮らせるように～

ご存じですか？障害者週間

毎年、12月3日から12月9日までは障害者週間です。障害者基本法において、9日が「障害者の日」として定められていたことに由来しています。障害者週間の目的は、国民が広く障がい者福祉について理解し関心を深めること、障がいのあるかたの社会参加を促進することです。

誰もが暮らしやすい地域に向けて

障がいのあるかたが暮らしやすい地域は、障がいのないかたにとっても暮らしやすい地域になります。地域から虐待や差別をなくすには、それらの実態をより多くのかたに知っていただき、問題を見逃さない、見過ごさないようにしていく必要があります。

1 暮らしの安心のための取り組み

障がいに関わる制度や福祉サービスに関する情報提供、施設や病院などの関係機関と連携し、ご本人が安心できる環境整備などに取り組んでいます。「障がいに関することで、どこに相談すればよいかわからない」という場合は、まず社協までご相談ください。

2 虐待、差別をなくす取り組み

虐待やその疑いに気づいた地域のかたの通報窓口として、市役所や警察などの関係機関と連携しながら対応しています。また、障がい者虐待の実態について知っていただき、未然に防ぐための啓発活動に取り組んでいます。



障がい者交流事業

「つながるカフェ」の様子

精神障がいのあるかたやその家族が、お互いの悩みや不安の軽減、リフレッシュできる居場所となることを目的としたカフェです。

障がいがある人の権利擁護～虐待や差別のない社会へ～

障がい者虐待防止研修会を開催しました

9月22日、総合保健福祉センターひだまりにおいて、東北福祉大学の竹之内章代教授をお迎えし、「障がいがある人の権利擁護～虐待や差別のない社会へ～」というテーマでご講演いただきました。当日は一般のかたや民生委員、市内事業所関係者など多くのかたが参加し、障がい者の虐待防止と差別解消について理解を深める機会となりました。

虐待や差別を未然に防ぐには、市民一人ひとりの障がいに対する理解、差別や偏見のない態度が必要となります。那珂市社協では、障がい者虐待と差別に関する相談窓口として、障がい者虐待防止センターや障がい者差別解消相談室を開設しています。お気軽にご相談ください。



問い合わせ・相談先

住所：那珂市菅谷3198 市総合保健福祉センターひだまり内

電話：TEL.298-8881 専用電話：TEL.229-0952（障がい者虐待防止センター24時間・365日対応）



身近な地域のお宝発見!!

PICK
UP

民児協さわやかグラウンド・ゴルフ会

～ グラウンド・ゴルフでつながる民生委員の絆 ～

今回は、『民児協*さわやかグラウンド・ゴルフ会』の活動について、副会長の戸祭守男さん、事務局の椎名博さんと石川順一さんにお話を伺いました。（※民児協は、民生委員児童委員連絡協議会の略称です）

「気軽に話せる場を」

…民児協OBが語る立ち上げの思い

会の趣旨について戸祭さんは、「民児協の活動の一環として、グラウンド・ゴルフを通じた健康増進と委員どうしのコミュニケーション促進を目的に、平成27年にこの会を発足しました」と話します。当時の中心メンバーだった椎名さんは、「民生委員には難しい判断や対応を求められる場面が多く、他の委員に相談したいと思うことがよくあります。ですが、民児協の定例会は全体の協議・伝達を行うのが手一杯で、個々の相談をする時間がなかなか取れません。そこで、民生委員どうしが気軽に交流する機会が必要と考え、当時の民児協会長とも相談しながらこの活動を始めました」と振り返ります。



グラウンド・ゴルフで健康づくり&情報交換

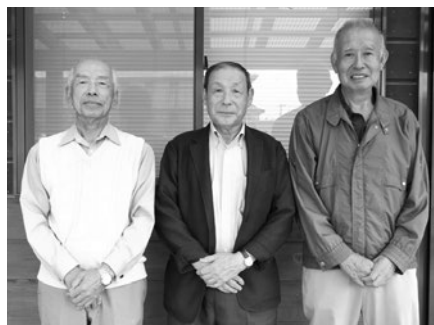


活動は2か月に1回、ふれあいセンターごだいなどで開催しています。プレーを楽しみながら親睦を深めるだけでなく、研修や情報交換も行っています。たとえば元警察官の委員から特殊詐欺の注意点を学んだり、高齢者訪問時の対応について意見を交わしたりと、実践的な学びの場にもなっています。

現在の会員は31人。そのうち13人が民生委員のOB・OGで、戸祭さんと椎名さんもOBです。現役委員の石川さんは「皆さんからいろいろな経験談を聞かせていただき、とても参考になっています。普段はなかなか他の委員と話せませんが、グラウンド・ゴルフのときは気軽に相談することができます」と会の意義について話します。最初は研修目的で参加したという石川さんですが、「もともとゴルフが好きだったのでグラウンド・ゴルフにもすぐハマリ、気づいたら事務局になっていました(笑)」と笑顔を見せます。

現役委員とOB・OGが語る“つながり”の力

今年は民生委員の一斉改選を迎え、新たに就任される委員も多くいらっしゃいます。戸祭さんは、「今後、高齢化が進む中、地域では独居高齢者が増え、その見守りや支えあいの活動が重要になっています。現役委員とOB・OGが世代や立場を越えて、協力できるネットワークが必要だと考えています。グラウンド・ゴルフ会はそのための大切なつながりの場の一つです。一緒に活動してくれる新会員を心から歓迎いたします」と話します。椎名さんも、「民生委員が孤立しないように、横のつながりをつくることはとても大切。会を立ち上げた趣旨に立ち返り“活動の灯”を絶やさないよう努めていきたい」と語ります。民生委員の苦労もやりがいも知るからこそ、つながり支え合おうとする温かな気持ち・・・その思いが、地域を支える大切な力であり、“地域のお宝”といえる活動です。



（左から）椎名さん、戸祭さん、石川さん

ふくし相談センター

福祉に関する総合的な窓口

ご本人やご家族、地域のことなどで「どこに相談したらよいかわからない」といった場合には、お気軽にご相談ください。専門の相談員が、一緒に考えながら解決へのお手伝いをします。



問 生活支援グループ
TEL.298-8881

詳細はこちら▲

障がい者虐待防止センター

障がい者の虐待を未然に防ぐために

虐待やその疑いに気づいた住民の相談・通報窓口として、市役所や警察などの関係機関と連携しながら対応しています。また障がい者虐待の実態について知っていただき、未然に防ぐための啓発活動に取り組んでいます。



問 障がい者虐待防止センター
(専用電話)TEL.229-0952
24時間・365日対応

詳細はこちら▲

那珂市おもちゃ病院

大切なおもちゃ直します



那珂市おもちゃ病院では、ボランティア活動としてお子様のおもちゃを無料で修理しています。修理の受付は活動日のみです。(ゲーム機など修理を受付できないものもあります)

活動
予定日
1月 8日・22日
2月12日・26日
3月12日・26日



●時間 午後1時30分～午後3時30分
●場所 社協 居場所拠点 (菅谷3198)

問 生活支援グループ TEL.298-8881

あがっぺほっとサロン

悩みを置いていける場所



「ずっと仕事をしていない」「家からほとんど出ない」など、こどもの不登校やひきこもりで悩むご家族どうしてちょっと話してみませんか(聞くだけでもOKです)

●日時 原則毎月第2火曜日
午前10時30分～正午 途中入退室可
●場所 瓜連キリストの教会内
あがっぺカフェ (瓜連573-1)
●参加方法 申込不要 参加費無料

問 生活支援グループ TEL.298-8881

令和7年度社協会費受付状況

社協会費を随時受付しております



社協会費にご協力ありがとうございます。個人、事業所、福祉施設、企業のみなさまからお寄せいただきました会費は、社協活動の貴重な財源として、地域福祉活動推進のため大切に活用させていただきます。

●ご協力いただいた法人
(令和7年8月26日～11月17日現在)
神崎地区 ケアホーム テンダーの杜なか (1口)
戸多地区 FLEXCEED(株) (1口)

問 総務・地域支援グループ TEL.229-0309

会費の種別(会費は1口、年額)

◆個人または世帯
一般会員 500円
特別会員1,000円以上
◆法人
法人会費10,000円以上

那珂市社協は、法人税額から一定の金額を控除できる税額控除対象法人です。社協に納入いただくことで税制上の優遇措置が受けられます。(限度額内の場合)



詳細はこちら▲

公益社団法人

那珂市シルバー人材センター

植木剪定、草刈り、草取り、障子・襖の張替えなどお気軽にご相談ください。

シルバー会員募集中

■那珂市菅谷3198
■営業時間/8:30～17:15
■定休日/土曜・日曜・祝日
■E-mail: naka@sjc.ne.jp

■TEL: 029-295-5741
■FAX: 029-295-5553



障がい・介護サービス

十人十色の個性とペースでやってみよう

1up 株式会社 1up

生活介護・就労支援・障害者相談支援・短期入所・居宅介護支援
訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・グループホーム
那珂市菅谷6151 ☎029-212-4300

善意銀行からのご報告 令和7年8月26日から令和7年11月17日現在



みなさまの善意に感謝します

■善意銀行とは：

みなさまからお預かりしたあたたかいお気持ち(お金や物品)を社会福祉のために活用させていただくための窓口です。なお、預託者の敬称を省略させていただきます。

現金

預託者(敬称略)	金額(円)
預託者()は指定先、それ以外は那珂市社会福祉協議会	
匿名	4,000円
ぴっぴお話の会 南波久代	6,209円
いい那珂フェスティバル2025実行委員会 (那珂市商工会商業部会)	12,000円
那珂市ゴルフ連盟	54,300円



那珂市ゴルフ連盟様から
寄付いただきました



那珂市商工会青年部様から
お米の寄付をお預かりしました

(テーマ型寄付)	
匿名	45,624円
下河原自治会	20,400円

物品

- 書き損じハガキ・切手・テレカ
(届け先 切手・テレカボランティアポピー)
山田道俊 会沢実 藤沢光 小山祐子
大和建設工業(有) 匿名 4件
- おしりふき布(届け先 市内施設・利用者等)
横須賀幸子 富張滯子 匿名 3件
- タオル・手ぬぐい・ぞうきん等(届け先 市内施設等)
菅原久美子 富張滯子 匿名 6件



那珂市社協は、所得税額から一定の金額を控除できる税額控除対象法人です。社会福祉協議会に寄付された個人のかたは、税制上の優遇措置が受けられます。



こどもの食

応援プロジェクトへの寄付ご報告(敬称略)

令和7年8月26日から
令和7年11月17日現在

🍴 現金 66,024円
(上記テーマ型寄付合計額)

🍴 食品・物品
磯邊米子 匿名 3件

🍴 お米
那珂市商工会青年部 匿名 1件

Amazonを通じて 社会福祉協議会へ寄付ができます

那珂市社協では、みなさまからAmazon「みんなで応援」プログラムを通じていただいた応援の品物を、家計が大変なご家庭にお届けします。

- 支援いただきたい物品
お米・水・パスタ・缶詰・調味料 など

詳細はこちら▶



📌 次回のなかなかパントリーは 2月28日(土) 実施予定!!

実施するためにはみなさまからのあたたかな気持ちが必要かせません。お預かりした寄付は、家計が大変な世帯への食の支援に活用させていただきます。

なかなかパントリー寄付食品の一部



12月の「なかなかパントリー」にご協力いただいたみなさまありがとうございました。こどもの食応援プロジェクトにお寄せいただいた寄付を活用し、パックご飯やインスタント麺などを購入させていただきました。

問 総務・地域支援グループ TEL.229-0309

寄付に関するご相談などは、社協にお問い合わせください。

大家族の絆に学ぶ

～子育て・介護・災害を乗り越えて～

2026 2月7日(土) 13:30-16:00 総合センター
らぽーる

第39回那珂市社会福祉大会開催

那珂市社会福祉大会を開催いたします。第1部式典では、多年にわたり社会福祉の増進に貢献されたかたがたの表彰、第2部では特別講演を開催します。今回は、テレビ番組「大家族 石田さんチ」で紹介され、7男2女のお母さんとして知られる 石田千恵子氏 を講師にお迎えし、子育てと介護の両立、浸水被害をはじめとした災害体験、そして家族の絆など、波瀾万丈な人生をたくましく乗り越えてこられた体験を語っていただきます。

心温まるエピソードや、前向きに生きるヒントが得られる貴重な機会です。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。



講師 石田 千恵子 氏

講師プロフィール

1997年に7男2女のお母ちゃんとして日本テレビ『大家族石田さんチ』で紹介され、日本一有名な大家族のお母さんに。お父ちゃん、お母ちゃんの子育て中の名台詞の数々は、子育てに悩む人のみならず、人間関係や人生の岐路に立った人にも、愛ある格言として生きる指針を与えてくれます。次々に子どもたちが自立していくなか、15年前に実母がアルツハイマー型認知症を発症し子育てから介護の日々へ…

71歳の千恵子さん、まだまだやりたいことをやり続けるパワフルさに共感するファンも多く、多くの視聴者から反響を呼んでいます。

内 容

- 第1部 式典 13:30～14:20
福祉功労者の顕彰
第2部 特別講演 14:30～16:00
講師 石田千恵子 氏

参加費

入場無料
(要申込／要整理券)
※整理券はお1人様
2枚まで

申込み

1/19(月)から1/23(金) 平日9:00-17:00(先着順)
那珂市社会福祉協議会 瓜連本所(那珂市瓜連321)
および菅谷事務所(那珂市菅谷3198)にて受付
※来館でのお申込で、定員になり次第締め切り
※電話でのお申込は行っておりません

きずなBOXによる食の支援について

ご家庭にある食品をきずなBOXに寄付することで、暮らしサポートバンクを通じて市内生活困窮者世帯への配布や子育て中のひとり親世帯の支援などに活用されます。食品の受付を随時行っていますので、ご協力お願いいたします。

●どんな食品が対象なの？

未開封で常温保存可能な食品で賞味期限が2か月以上あるものが対象です。

募集している食品の例

- お米(令和6・7年度収穫のもの)
- パスタ、そうめんなどの乾麺
- 海苔、ふりかけなどの乾物
- 粉ミルク、離乳食、お菓子
- 調味料
(しょうゆ、ドレッシングなど)
- かんづめ、びんづめ、レトルト食品

受付できない食品の例

- ×賞味期限が
1か月を切っている
- ×開封されている(破れも×)
- ×生鮮食品
(肉、魚介類、野菜)
- ×アルコール

●暮らしサポートバンクとは？

寄付された食品や生活必需品などを必要とするかたへ提供する窓口です。お困りのかたは、ふくし相談センターまでご相談ください。

問 生活支援グループ
TEL.298-8881

編集委員
委員長
副委員長
委員
川 峯 寺 秋
田 島 門 葉
俊 日 喜
昭 代 勝 泉

